

入試分析 英語

【主な特徴】

- ① 問6の問題形式に変化が見られた。問4と問8では小問数がそれぞれ1問ずつ増えた。
- ② 問2では単語力が、問3では中2までの文法知識が問われている。難易度は例年並みの印象。

【出題形式】

問1:リスニング

(ウ)は学校の家庭科室についての説明とそれを聞いた生徒がもう一人の生徒に送ったメッセージの空所補充問題。

問2:会話文中の適語選択

bright・movement・solve を選ぶ問題。選択肢の語彙のレベルも高く苦戦した生徒もいたかもしれない。

問3:適語(語句)選択

いずれも中2までの学習知識で解くことができる問題。
(カ)は直説法条件か仮定法過去かで迷った生徒もいただろうが、意味を踏まえれば容易に判断できる。

問4:整序英作文

1問増だったが、いずれも例年よりやや易しめであった。
(ア)では“take A to B”で「BにAを連れていく」、(エ)では“How many 複数名詞 are there ~?”の疑問文が出題されている。中2までの知識が大切である。

問5:イラスト英作文

例年通り空欄に当てはまる疑問文を書く問題。直後のセリフが“For two years.”であることからHow long ~?が求められていることは分かる。主語に意識が向けば易しい問題。

問6:読解

職場体験についての情報を読み取る問題だが、問題形式が変わった。(イ)のNo.1は挿入する英文が短いのでかえって難しく感じた生徒もいたのではないかな。

問7:図表読解

(ア)は過去問でもよく目にする形式だったが、(イ)は電子書籍に関する意識調査についての各自の回答から利用に消極的になった生徒や教師の人数を確認する問題でやや難しい。

問8:長文読解(対話文)

小問が1問増えて、後半まで気持ちを切らずに読まなければなくなり、時間との戦いになる傾向が一層強まった。

実際の問題にチャレンジ! 問2 適語選択 & 問4 整序英作

問2 次の各英文の空所に入れるのに最も適するものを、あとの1~4の中からそれぞれ一つずつ選びなさい。

(ア) A: Look at the beautiful sky!

B: Oh, the stars are so () and beautiful!

1. bitter 2. bright 3. poor 4. terrible

(ウ) A: Our town has a garbage problem. Do you have any ideas to () it?

B: Yes. We can pick up garbage on the streets every weekend.

1. paint 2. solve 3. throw 4. wash

問4 次の対話文が完成するように並べ替えなさい。ただし、一つずつ不要な語がある。

(オ) A: Would you like to go to the festival with me on Saturday?

B: Sorry. I can't go because (doing / many / to / things / I / have) do on Saturday.

《解答》問2(ア)2 (ウ)2 問4(オ) [I have many things to]

【新中2・新中3生へ】

神奈川県公立入試の英語は長文の語数が極めて多いのが特徴です。対応するには普段からスピードを意識して、かつケアレスミスをしないような習慣を確立することが欠かせません。文法的にそこまで難しいものは出題されない一方で多少難しめの単語も掲出されていますので、学校の試験範囲などに捉われずに積極的に語彙力を高めていく姿勢が必要です。